

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こころとことばの教室こっこ浦安駅前校		
○保護者評価実施期間	2025年 12月 1日 ～ 2025年 12月 31日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	41	(回答者数) 25
○従業者評価実施期間	2025年 12月 1日 ～ 2025年 12月 31日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	2026年10月6日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	● 厚い支援と専門性	・色々な個性や特性を持ったお子さんに柔軟に対応できるよう、子どもの数に対して手厚くスタッフが配置されています。また、スタッフは全員有資格者であり、専門的な支援が行えるよう、意見交換や研修を活発に行っています。	・引き続き社内研修の充実、支援に関するスキル向上に努めます。外部研修で最新の知見や手法を学ぶことを推奨していきます。
2	● きめ細かな保護者支援	・保護者の悩みに丁寧に対応し、必要な情報提供を行うよう努めています。家庭や園生活での困りごと、生活面の事柄もなるべく聞き取り、生活全体の視点を持って対応するようにしています。	・引き続きお子さんの生活全体や家庭状況の把握に努めます。地域の機関や就学状況についての情報収集を行い、細やかな情報提供が行えるようにします。必要に応じてお子さんの所属園との情報共有なども行っていきます。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	● 施設・設備面に関する課題	・様々な特性を持つ子どもが、安全に過ごせるような環境設定がなされている一方で、建物自体の古さについてはなかなかカバーしづらい点があります。	・日常的な清掃や環境整備を怠らず、保護者の方の目線で導線やレイアウトも点検し、快適さが増すよう努めます。
2	● 保護者同士の交流の促進	・サービスの提供方法が、子どもの療育効果を優先して設定されているため、保護者同士の交流を後押しする設計にはなっていない面があります。 ・保護者が数年で入れ替わる状況があり、年度ごとに保護者の意向に差がある印象です。年によってはそういった交流を求めない方が目立つ場合もあるように感じています。	・療育後のフィードバックやイベントの機会に、保護者の方同士が安心して話せるような配慮をしています。そういった関わりが苦手な保護者の方に配慮しつつ、希望がある方同士が接点を持てる機会を検討していきます。
3			